

第67回

【地域別】

市民と市長のタウンミーティング 報告書



○期 日 平成29年2月19日

○会 場 御殿山コミュニティセンター

武蔵野市

ま え が き

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が一緒にまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で、地域の課題や市政全般について率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

この会には、地域のまちづくりの拠点であるコミュニティセンターを会場として、市とコミュニティ協議会が企画・運営方法を協議し、協働して実施する「地域別タウンミーティング」、テーマを設定して、そのテーマの関連団体にご協力をいただきながら実施する「テーマ別タウンミーティング」、そして屋外において実施する「青空タウンミーティング」がごございます。

今回は、御殿山コミュニティ協議会との共催により、「第67回市民と市長のタウンミーティング」を開催し、地域の課題やまちづくりについて話し合いましたので、その結果を報告いたします。

今後も、市内の様々な場所で、タウンミーティングを開催し、ご意見を伺い、市政に活かしてまいります。

武蔵野市長

邑上守正

概 要

1. 日 時 平成29年2月19日（日）
午後2時～4時
2. 場 所 御殿山コミュニティセンター
3. 主 催 御殿山コミュニティ協議会
武蔵野市
4. 参加者数 22人
5. 主催側出席者 市 長 邑上 守正
市民活動推進課長 佐々木 岳
御殿山コミュニティ協議会 会長 香村 時良
6. 司 会 御殿山コミュニティ協議会 服部 哲治
市民活動担当部長 秋山 真弘
7. テ ー マ 『多様な市民力をコミュニティに』
『地域の課題を考える』

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 「多様な市民力をコミュニティに」をテーマにした意見交換（要旨）	
1. 地域活動を通して得ること.....	3
2. マンションにおけるプライバシーの尊重と近所づきあい.....	5
3. コミュニティ協議会が果たす役割.....	8
(3) 「地域の課題を考える」をテーマにした意見交換（要旨）	
1. ハモニカ横丁の今後と吉祥寺南口の開発について.....	11
2. 武蔵野市のランドマークについて.....	13
3. コミセンの再編成.....	15
4. 武蔵野市と三鷹市の合併.....	16
5. 下水道整備について.....	18
(4) 閉会のあいさつ	20
2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針.....	21
3. アンケートでいただいた感想	24

— 付属資料 —

第67回「市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆さん、こんにちは。今日は大変穏やかな日となりました。梅の香りが漂う、よき日になったと思います。ただ、暖かくなったり寒くなったり、まさに三寒四温という感じでしょうか。あと1か月もすると桜のシーズンになります。4月2日には、武蔵野市役所の隣の公園で桜まつりを行いますし、もちろん、この地域には井の頭公園がございますので、そこでもまた、皆さんと一緒に桜が見られたらいいなと思っています。

今日は第67回市民と市長のタウンミーティングですが、66回までの参加者数は4,900名を超えていると思います。今日、100名を超えれば5,000名を超えますので、多くの方のご来場を期待したいと思います。御殿山コミセンの皆様方には大変お世話になります。ありがとうございます。

さて、御殿山地区は、井の頭公園と一体的な地区です。吉祥寺の魅力は何かと言ったら、井の頭公園があるということが第一に挙げられます。このような大きな評価がありますので、ぜひ、井の頭公園を地域のかけがえのない宝として大いに活用しながら、活発な、元気なまちづくりができたと思っています。

その井の頭公園が今年開園100年ということで、5月1日の開園記念日から、おおむねゴールデンウィークの期間にさまざまな大きな行事を予定しています。東京都と三鷹市、武蔵野市、それから地域の皆様方に入っていたいただいた100年実行委員会で行っていきます。

また、去年はゾウのはな子が亡くなりました。はな子は御殿山の住民でありました。武蔵野市と同じ年だったものですから、今年市制70周年、はな子も70歳になるということで一緒に祝いたいなと思っておりましたが、残念ながら昨年亡くなりました。しかし、生誕70年を記念して、今、はな子の像をつくっております。多くの皆様方から寄附金のご協力をいただきまして、何とか目標額を達成する見込みです。今、富山県の高岡市でその銅像をつくっております。日本全国の銅像の8割以上が富山県産だそうです。はな子の銅像は、当初1.5mぐらいを予定しておりましたが、だんだん大きくなって、現在は2.5mぐらいの予定になっています。できあがる頃にはもっと大きくなるかもしれません。できれば井の頭公園側の駅前に設置したいと思っておりますが、まだ南口広場ができていません。当面は北口駅前広場に置かせていただきたいと思います。披露式を5月5日に予定しておりますので、ぜひ、そちらもお出かけいただきたいと思っております。

いずれにしても、この地域はかけがえのない大きな財産を持った地域でございます。また、安心・安全の点でも、地域の皆様方には大変関心をいただいているところでございます。コミュニティを育む中で、いかに魅力的なまちをつくっていくのか、今日はそれが課題だと思いますので、皆様方から活発なご意見をいただきたいと思っております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。



【御殿山コミュニティ協議会 香村時良会長】

皆さん、こんにちは。お忙しいところを御殿山コミュニティセンターのタウンミーティングにご参加いただきまして、まことにありがとうございます。

私は、当コミュニティ協議会の会長の香村でございます。開会に先立ち、ひと言挨拶をさせていただきます。

当コミセンは、実に平成 18 年以来、約 10 年振りのタウンミーティングの開催となります。前は主に地域の課題に対する質疑応答がなされました。今回は、タウンミーティングというネーミングのとおり、市民と市長の活気ある議論を通してコミュニティの未来を考えたいと思っておりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

第 1 部は、多様な市民力をコミュニティにという議題です。御殿山地区は、市内でもいち早く、昭和 40 年以降、大規模集合住宅が建設され、さまざまなキャリアを持った方々が市民として転居されてまいりました。以来相当の年月がたっておりますが、地域活動に参加される方が、ごくごく少数にとどまっているのが現実でございます。そのような事情を背景として、多様な市民力をコミュニティに集結して、地域社会の運営、その発展を我がこととしていくにはどうしたらよいのかということを議論していただければ、大変発展的になるのではと考えております。

第 2 部は、地域の課題について、皆様が実際、見聞き、体験している事象について、忌憚のないご意見をいただき、市長に集約し、市政に役立てたいと存じます。どうぞ活発なご意見をよろしくお願いいたします。



(2)「多様な市民力をコミュニティに」をテーマにした意見交換(要旨)

1. 地域活動を通して得ること

【司会】

本日は、コミュニティの未来を考えるということで、多様な市民力をコミュニティにどう結びつけるかというテーマです。御殿山には、コミセン、福祉の会、老人会、町会、青少協等々いろんな団体がありますが、みんな金太郎あめみたいなんです。切っても切っても同じ顔しか出ない。新たな人が入ってこないで、これで未来はどうなるのかという思いがあります。どうしたら地域活動が活発化するのか、皆さんの闊達な議論をお願いしたいと思います。

まず、地域活動で得るものはあるのか、地域活動をすることで何か実益があるのか、あるいは地域と自分は結びついているのかどうか。こういった観点から考えてみたいと思います。

【ご意見】

地域活動をするということは、この自分たちが住んでいる地域がよくなるということで、住みやすい地域になれば、市全体も住みやすくなると思う。自分たちの周りにはいろんな地域の課題、例えばごみ、安全・防犯の問題などがあり、これを地域の市民が一体になって解決していく力が大事で、この地域の課題でもある。

それから、コミュニティセンターが、これからはどう核になっていくか。平成26年だったか、コミュニティの検討委員会というのがあって、コミュニティセンターがテーマごとにいろんな活動をしていくというテーマ型コミュニティということをやっていたが、それと同時に、市民と地域の課題を解決したいときに、例えばNPOやボランティアを通して、そういう活動を推進していく、または連携していく、そういう場がこのコミュニティであってほしいと私は思っているが、いろいろお話をお聞きしたい。

【ご意見】

青少協の井之頭地区委員会、委員長をしている。もともとは、私の親の世代、友人の親なども含めて地域で活躍されている方たちから、むさしのジャンボリーのリーダーをやってみないかとお声かけいただいた。18歳のときだった。そこから青少協の活動をしていてもう22年ぐらい経つが、地域の方たちと一緒に顔を合わせる場があり、挨拶ができたり、こういう方たちがいるんだということで、本当にありがたく思っている。

今、御殿山地区は新しい建物が大変多くて、井之頭小学校も児童が増えてきたけれども、新しい方たちがどうつながれるか、どうやって顔を知れるかというところがとても大事だと思う。

御殿山コミセンは常設の館なので、ここに来れば誰かに会えるという環境づくりもしていると思う。町内会が少ない武蔵野市なので、コミセンがコミュニティのもと集まれる場だということを私は確信しており、今後も期待している。

【市長】

なかなか難しい内容になってきましたが、基本的な考え方をお話したいと思います。

冒頭、司会者から「金太郎あめ」という言葉がありました。確かにいろいろな団体を担っていただいている方は、いろいろなところで登場いただいています。しかしそれを悪いとは思いません。できる方にやっていただくことは大いに結構だと思っています。武蔵野市の特徴として、それぞれの団体で活動のエリアが若干違います。例えば、青少協というのは学校単位ですから、井之頭小の学区区というのは御殿山だけではなくて、当然、本町も入っているし中町も入っています。御殿山コミセンの範囲は御殿山1丁目と南町1丁目を中心で、新しいマンションができて1丁目から2丁目にかけてこれから広げていただくという、そういう範囲です。あるいは、消防団ですと、吉祥寺のど真ん中を範囲としているというように、それぞれ微妙に範囲が違っており一元化されていません。その意味では、同じ方が担っているとしても、いろんな地域の方とつながっていただけますので、メリットとして考えてもいいと思っています。

地方へ行けば全部同じです。つまり、学区区も町会もその範囲は全部同じで、市役所が何かお願いするときには、町会長さんに言えば、全部に伝わるというコミュニケーションがあります。武蔵野は、さきほど申し上げた市の特徴を、多様性ととらえ、いろいろな幅広の活動につなげていけるということになります。つまり、隣同士が完全に分かれていない、何となくつながって行ってそれが全市に至るような、そんなつながりもあるのではないかと思いますので、武蔵野らしいコミュニティのあり方を、ぜひ皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

もう一つは、コミセンは大切だということです。武蔵野市には町会制度がネットワークされていません。もちろん頑張っている町会があります。ただ人口比や世帯割合でいうと、全市的には大体2割、3割ぐらいしか、町会や自治会に入っていないんです。圧倒的にそういう地域の組織に入っていない方が多いので、それらの方々をつなぐ役割というのはコ

ミセンに違いないと思います。コミセンには自分たちで企画、運営、管理をするという自主原則があります。市役所が指示をするというような関係にはありませんが、大きな期待を持っています。コミセンにもっと地域をまとめていただきたいという思いもあるので、地域コミュニティ検討委員会で提言をしてもらって、地域フォーラムが始まっています。いろんな課題を共有し、議論して、それをまた地域に戻す、というネットワークをつくるような取り組みを、ぜひコミセンに頑張ってもらいたいと思っています。

【司会】

「金太郎あめ」は、武蔵野の場合は一元化されず多様な市民が集うのでいいことだということです。では、その金太郎あめを新陳代謝させなければいけないという課題があります。新たに住み始めた方々がコミュニティに参加しないことについて、皆さんのお考えを伺いたいと思います。



2. マンションにおけるプライバシーの尊重と近所づきあい

【ご意見】

私は御殿山のマンションに住んでいるが、つくづくマンションの中での連絡が全くないと感じている。今の世の中は、だんだんと個人を尊重する、プライバシーを尊重することが主になっているので、隣は何をする人ぞ、とばかりに干渉しない。要するに、つき合いがないのが一番安全であるということらしい。そういう風潮がマンションには多いように思う。その中で連絡をとり、集まりをしているのは個人の家の方であって、マンションに住んでいたら、私もここに40年住んでいるが、ほとんどつき合いはないし、また、ないのが気楽。

しかし、常々思っているのは、もしも大地震がきて誰か屋内に閉じ込められた場合、助けようと思っても、その部屋に何人住んでいるのかわからないということ。これは私の経験だが、以前、たまたま隣の部屋に女性の映画監督が住んでいた。その方は奈良出身で、後に武蔵野市について、あんなに人との関係が全くない冷たいところはなかったと書いている。

自分たちも考えなければいけないが、個人の尊重ということ考えた上での集まりとか

何か考えていただければありがたいと思っている。

【ご意見】

今、私の住んでいるマンションは80世帯あるが、管理組合の理事が輪番制になっていて、今回3度目の理事長をやる形になっている。先ほどの方と同じようなことは私も常々感じているが、今は社会全体が若い人に非常に厳しいと思う。多分、理事会に喜んで出られる方というのは引退した方、リタイアした方で、僕も仕事がなくなってから、やっとこういう役をやらせていただくようになった。実際、現役で働いている方が理事になって、そこで活躍して、それからまた町内にかかわることは時間的に余裕がない。どうすればマンションの人たちが、例えば御殿山コミセンみたいところで積極的にかかわっていただけるのか、いつも考えているが、現役で働いている方の中にはご夫婦で働いている方もいて、理事になる方はほぼいない。みんなが断わるので20数名で回している形である。

マンション自体で解決しなければならないことだが、コミセンのお祭りのときに子どもや孫と一緒に来るとか、もっとコミセンを活用して、地域の方々と接触できるようにマンションで活動したいと思っている。また、マンションには集会室がないのでここは必ず利用している。そういう面では、ほんとうにコミュニティセンターができたことで助かっている。

【ご意見】

私もできてまだ3、4年のマンションに住んでおり、ほとんどの方と挨拶はしている。管理組合の理事は1年交代だが、断ることはほぼできないような仕組みになっており、特に高齢の方は嫌がるが、そういう人の意見も反映させるために、満遍なく順番にやっている。そういう点ではうまくいっていると思うが、マンション内部の情報はほとんど伝わってこない。引っ越してきたときは友達もいなくて、家内は非常に寂しい思いをしていたが、よく顔を合わせる人で集まっておしゃべり会をつくり、数人でお互いに情報交換をしている。広げてしまうと場所にも困るいろいろな問題があるということで、コントロールできる範囲、5、6人でやっている。マンションには、高齢で昼間は1人という方もかなりいるので、声をかければ、お互いの生活の問題を共通に話し合う場が広がっていくと思う。

【ご意見】

この場に若い方もいるので、新陳代謝で入ってくるほうの意見も聞いてみたい。

【ご意見】

若者です。千葉市に住んでいるが、吉祥寺の設計事務所の手伝いをしている、もともと建築をやっているの、まちづくりに興味があり参加させていただいた。

現在 300 世帯ぐらいの結構大きなマンションに住んでいて、管理組合の理事の話は回ってくるが、自分なろうという思いになかなかならないというのが本音。個人の尊重という話もあるが、若者に遠慮しなくてもいいと思う。僕自身はいろんな活動に出ているが、若者はあまり声に出さないだけで、結構コミュニティとか地域活動に参加したいという方は多い。実際、千葉市のほうでも、親子で参加できるカフェづくりや、子どもたちを連れてのワークショップなどを投げかけると、結構人が集まる。きっかけをつくるのがすごく大事だと思うので、そういう場を提供してあげるということは重要だと思う。

【ご意見】

私も今、マンションの理事長を務めている。世帯数は 60 世帯だが、以前は理事は持ち回りだった。だんだん活動が希薄になって決算書も出さないぐらい荒廃した。私は理事長になって 6 年目。ほんとうは 2 年で交代する予定だったが、なり手がなくてずるずると今に至っている。なかなか次の役員を引き受けてくれる方がいないのでとても苦慮している。

【市長】

武蔵野市というのは、マンション住まいの方が多くですよね。住居の 7 割が集合住宅です。まさに皆さんがおっしゃったとおり、コミュニティの問題は、実はマンション問題なんです。いきなり「コミセンに来てよ」ではなくて、まずはお住まいの地域の皆様方がどうやってコミュニケーションをとるかということではないかと思います。



ただ、マンションをお求めの方は、往々にして都会的な匿名性を選んでいる部分もあると思います。マンションというのは鍵 1 つで外と分断できますから。気づいたのですが、一戸建てにお住まいの方は、家の前に出ていることが結構ありますよね。例えば庭の前の掃除では数分間いると思います。マンションは数秒です。つまり、玄関のドアを開けたら、すぐもう外へ行ってしまいうので、玄関の前に立っている時間というのはほとんどないのです。ですからマンション住まいの方は、近所の方や隣同士で挨拶する機会は本当に少ないと思います。会う時間がないので、コミュニケーションを図るのはなかなか難しいと思っています。

それでも、管理組合だけでなく、それを自治会に高めて、お祭りや防災訓練など、いろいろなことを行うマンションも結構出てきています。そういう市内の事例を集めて、ほかの方、ほかのマンションにお伝えする必要もあると思っています。先ほど若い方がおっしゃったとおり、実は、マンション住まいの方も、地域と何らかのつながりを求めているということは確かです。アンケート調査結果を見ますと、地域活動に、参加はしないけれども関心はあるという方が多いです。何かきっかけづくりをすることが、次のステップにつながっていくので、ぜひ、お祭りとか防災訓練などを、管理組合が何とか頑張っていくことが、次のコミュニティを育むことにつながるのではないかと思います。

3. コミュニティ協議会が果たす役割

【ご意見】

コミュニティセンターを使う方の年代は、比較のお年を召した方が多い。あるいは、昼間学生さんが勉強の場として利用している光景はしばしば見受けられる。実際に、コミュニティセンターをどのように利用してもらい、どのように集客するのかがとなると、催し物があれば市報で流れるが、市報以外だとなかなか難しい。掲示板にポスターを貼ったとしても説得力が薄い。ポスティングをすると、マンションに限っていえばチラシは入れないでもらいたいというところが大半だろう。そうすると、いろんな催し物を作って人の口から口へつないでいただく、そのためになるべく皆さんが喜ぶ催し物を開催するということになると思う。スペースがあるから使えと言ってもなかなか使ってくれないので、皆さんが楽しめるような催し物を開催するというところから、勉強とか集会などいろいろ使い勝手があり、万が一災害があったときにも、身近にあるコミュニティセンターが頼りになるということになると思う。そういう情報を発信するというところから進めていかないと難しい。

【ご意見】

私は吉祥寺に引っ越してきて、まだ半年くらい。若者とお年寄りが仲よく一緒になって活性化させているというイメージが吉祥寺にはあったので、今日の参加者がお年寄りの方が多くて、若者は少ないというのが意外だった。一方で、例えば、朝市などへ行くと、お年寄りとお年寄りが一緒に仲よくやっていたりする。この違いは何なのだろうと考えた。

そもそも若者はコミュニティセンターという存在を知っているのかなということと、あとは、そのメリットをどう考えているのだろうと思った。コミュニティ協議会がどんなき

っかけづくりができるかということだが、もうちょっと大学生などの若者を巻き込んで企画を始めてもいいのではないかと思う。

【市長】

実はこの地域の人口は増えています。10年前が、外国人居住の方も含めて3,596人、今年、平成29年の2月1日が4,234人です。おそらくマンションが増えたことがその理由だと思います。新しい方が吉祥寺に、御殿山にお住まいになっているので、情報発信の場というアピールをコミセンがもっとやってもいいと思っています。

それからもう一つ、コミセンに来てもらうのはもちろんですが、コミュニティ協議会というのは、この施設だけではなく組織としてつながりがあるわけですから、地域に出て行って、例えば新しくできたマンションで、イベントの開催や防災訓練の実施方法などを伝える出張型、出前型のコミュニティ活動をしてもいいと思います。各マンションでのコミュニティがつながることによって、それが必ず協議会に派生してくると思っています。

それから、参加の方法として、学生の参加というのはすごくユニークな提案だと思います。現に、けやきコミセンは成蹊大学の学生、西部コミセンは亜細亜大学の学生にいろんなイベントに参加いただいています。この地域は成蹊大学に近く、成蹊大学と武蔵野市は包括連携協定を結んでいますから、コミセンが成蹊大学にボランティアを募ることもできます。成蹊のほうでも受けとめていただいているので、学生さんたちの協力を得られると思います。積極的に若い人を招いたり、また地域のいろんなマンションに出張って、サジェスションをしていく。そんなことがきっかけづくりになっていくと思います。

【ご意見】

私は西久保二丁目に昭和23年から住んでいて、あと3年で80歳になる。15、6年前に定年になり、武蔵野自由大学に入り一生懸命通った。でも、右から左へ知識はどんどん飛んでいく。だけど、その分、すいた頭の中にもっと何か入るかと思い、西久保に住んでいながら、一番発展していると言われていた吉祥寺西コミセンに行き、パソコンを習った。次は、老人ももっと働けと言うのでシルバー人材センターに入った。そこでとても友達が増えた。定年後十数年だが、地域と関わりながらあっという間に過ぎ、大変忙しく過ごしている。

【司会】

コミセンを起点にして、生活の場、交流の場が広がって、今は充実した人生を送っておられるということ。地域の一つの貴重な社会資源として、コミセンを核に、そのコミセン

第67回タウンミーティング
H29.2.19開催・御殿山コミセン
意見交換要旨

がさまざまな方面に触手を伸ばして、よりよい地域社会をつくり、そして、地域課題をみずから解決していく姿勢を持つということでした。

(3)「地域の課題を考える」をテーマにした意見交換(要旨)

1. ハモニカ横丁の今後と吉祥寺南口の開発について

【ご意見】

駅周辺のまちづくりの推進というのが第五期の長期計画にあって、セントラルエリアの老朽化対策というのが挙げられていたが、ハモニカ横丁は今後どうしていくのか。個人的には、吉祥寺の大きな魅力の一つがハモニカ横丁だと思う。建て替えてしまうと、その魅力が失われてしまうし、だからといって老朽化を見逃せないということなので、今後の計画や対策があったら教えていただきたい。

【ご意見】

確かに大変魅力のあるエリアだと思う。テレビでも取り上げられて、すばらしい一角だということで、外国の方も相当来られたり、地方の方が旅行のときに訪れたりしている。ただ、高度成長期に竣工した建物が非常に多いので、耐震性など大変大きな問題があるので、遊べるエリアであるけれども、防災という観点を第一優先で考えていただきたい。あの一角で火事が起きればあっという間に燃え広がってしまうことが予想される。なかなか厳しいと考えている。

【ご意見】

南口開発問題が起きてから大分年数がたっているが、進展状況などをわかりやすく教えていただきたい。北口はロータリーがあったのでよかったが、南口はとても狭く、バスが入ってきたら本当に歩みにくいので、どうしていくのか教えていただきたい。



ハモニカ横丁

【市長】

ハモニカ横丁は吉祥寺の中でも大変人気のスポットですね。もともとは戦後の闇市から発祥したところで、私が子どものころには、模型屋さんがあってお小遣いをためて買いに行きました。ただ、今は、そういう日用品ではなくて、飲食店を中心として、観光地的な、かなり魅力的な店舗構成になっております。

しかし、ご指摘のとおり、あそこの防災に関しては、市としても大変心配をしているところです。あそこの土地自体はお寺の所有ですが、建物の権利関係が非常に複雑です。建物を所有している人がその建物を別の人に貸して、またその中にテナントが幾つか入って

いて、そのテナントの権利をほかに貸すというように大変複雑になっております。ですから、全体の再開発がなかなかできないし、また道路が足りていないので個々の建て替えもできない状況です。個々に申請が出されても、建築基準法的には不適合となってしまう、市としては許可を出せません。では、どうしたらあの地域を安全なまちにできるかということですが、まずできることとして、大きな消火栓を数カ所に設けました。また、あそこには五つの商店会があってそれぞれ活動をしているのですが、商店会ごとの防災訓練の実施などソフト面ではかなり進めてきたつもりです。今後につきましては、まず商店会がまとまって、これからの方向性を議論できるような場を作っていただいて、市もそこに参加して話し合っていきたいと思っています。その前提として、吉祥寺グランドデザインという、吉祥寺全体の方向性を示した大きな計画が10年前にできました。それをもとに、モール、駅前の広場、南北自由通路ができてきたのですが、もう一度、その計画を見直すことを考えております。その中で、北口の駅前商店街地区をどのような形で整備していくかということも、ぜひ議論を深めていきたいと思っています。全国のほかの状況を見ると、再整備をするとまちの雰囲気さがらっと変わってしまっています。高層ビルを作って、足元にそれなりの雰囲気の横丁を作るのですが、作った横丁というのはテーマパークになって、味気ないものになってしまいます。今のような自然発生的に増殖をして組み立てられた、限界性のある空間というのはどうしても作れないんです。その辺の課題についても、議論をぜひ深めていきたいと思っています。

また、南口の開発についてですが、キラリナを出てすぐのところが駅前広場としての計画地です。都市計画決定していますので、新たにここに建築することはできない状況です。駅前広場は、バスの降車場であって乗車場所にはしない予定です。パークロードの人をかきわけてバスが走っていくという状況をやめたいので、パークロードを通さずにお客さんを降ろす機能をぜひ南口広場には設けたい。そうしますとパークロードは歩行者空間化できます。これを最初に作らなければ次のステップに行けないので、都市計画決定をして用地買収を進めています。今、用地買収率は60数%、1,900㎡ですが、地権者の中には、もう少し全体を考えた再開発をすべきという方もいて、再開発に向けた準備組合が設立されています。その中で出された案は、南口広場をもっと広げたような形にして、かつ、その上に超高層ビルを建てて事業が成り立つような計画ができないかというものですが、広場を広げることと広場自体の容積を使うことについては、都市計画法上なかなか難しい課題です。基本は広場を優先して作らせていただいて、その後、残りの街区について再開発を

していくという考えを持っています。

合わせて、皆様方によく利用いただいている公会堂の問題がありますが、東京オリンピックのときにできた建物で、すでに52年経過していますので、ゆくゆくは建て替える予定です。耐震性は問題ありませんが、ご利用になってわかるとおり、エレベーターはないし、トイレは階段の途中にあったり、大変使い勝手の悪い建物とされています。ただし、市としては、公共施設等総合管理計画の中で、おおむね60年はお金をかけて手入れをして使っていくという大きな方針がございますので、あと7、8年は何とか今の公会堂を使い、その間に新しい計画を作っていく予定です。この新しい計画についてはこれから議論を深めていきますが、公会堂の土地だけで考えると、まちづくりにはほとんど影響しません。ただ、そのころには周辺のビルもかなり老朽化することになるので、周辺のビルと一緒になった公会堂のあり方を考えるべきと思っております。現時点では周辺の皆様、地権者の皆様、権利関係者の皆様と、建て替え時期や合同ビルの可能性について情報交換をしているところです。

したがって、南口の問題は、三角地帯だけでなく、公会堂を含む周辺街区も含めた形で考えていきたいと思っています。今年には井の頭公園開園から100年でもあります。井の頭公園と駅を結ぶ大事な空間ですので、広場的な機能も加味しながら、老朽化してきている公会堂を種地として、新たに魅力的なまちづくりを進めていきたいと考えているところです。

2. 武蔵野市のランドマークについて

【ご意見】

武蔵野市のランドマークって何だろう？と考える。横浜のランドマークタワーのようなものはお金がかかって大変だと思うが、井の頭公園は広さもあるので、そのあたりに作って客を呼び込んだらどうかと思う。客が来ると、路線価も上がるので固定資産税の収入が増えて、武蔵野市をもっと発展させていける。また、動物園はゾウの銅像ではなく実際のゾウがいるほうがいいと思う。

それと、市のホームページを見ると、子どもの養育のことや老後の介護のことは全て載っているが、最近、マスコミでよく言っているラーニング・フォー・オールという、所得が低くて成績が低い人をボランティアで教育して学力を上げていくというようなことを、ぜひ武蔵野市も進めていってほしい。

【市長】

横浜のみなとみらいですと空間的な広がりがあるので、ランドマークタワーがあると遠くから見て、ああ横浜だという感じもあるし、また、その上に上って見える景観がすばらしいと思うけれども、果たして吉祥寺にそういうものが必要かという、高いビルが1つあること自体は、それほど魅力的ではないという気がいたします。

それから動物園については、確かにゾウのはな子がいなくなってちょっと寂しくなりました。本来ゾウは群れで生活をする動物なので、一頭での飼育は、今、世界的にはなかなか理解が得られません。井の頭公園で再び飼育するとしたら家族単位で飼うことになり、例えば、昔の植物園のほうまで場所を広げるとか、あるいは公園全体をサファリパークにして放し飼いにするようなことが必要になります。ゾウにこだわらずに何かシンボリックな動物に来てほしいですね。動物園のほうは、次の動物を何にするかまだ決めていないそうです。地域の声もいろいろ参考にしたいという話もありますので、ぜひ、コミセンで意見交換をしてもらって、御殿山住民としてふさわしい動物を提案したらどうでしょうか。

それから、子どもの貧困問題についてですが、武蔵野市でも同じ課題があって、教育関係で多様な取り組みをしているところです。放課後の学習面では、シルバー人材センターから、家庭に学習支援に入る講師を派遣してもらっています。また、この4月からは、高等学校の就学支援助成金と小学校入学前の子どもたちに就学前支援金を開始する予定です。国や東京都は奨学金をかなりプラスしてきたので、市も何かプラスをするような形を考えています。経済格差が教育格差につながらないように、これも大いに拡充しなければいけない課題と捉えています。

【ご意見】

ランドマークは、例えば渋谷のハチ公とか、そういうポイントでのことで、それがゾウのはな子だと思う。

【市長】

確かに吉祥寺で待ち合わせするときは、案外困りますよね。大抵、アトレの「はなびの広場」が多いですよね。そういう意味では、シンボリックな空間というのは少ないのかなと思っています。この5月に設置を予定しているゾウのはな子の像がその一つの役割になっていくのではないかと考えています。当初は1.5mぐらいの予定だったのですが、だんだん大きくな



はな子像

ってきて、今は 2.5m ぐらいと、結構な大きさになって、本物を超えちゃったらどうしようかと思っています。結構なボリューム感ですので、おそらくそこが新しい待ち合わせのポイントになってくるのかなと思います。そういう形で、いろんな特徴ある街角をつくっていくことが、そのまちをわかりやすくすることにもなるとなっています。

3. コミセンの再編成

【ご意見】

この御殿山コミセンも大分古くなり、今はエレベーターもない。地域は高齢化していくので、いろんな活動をする上で、コミセンを建て替えて、例えば、保育園や地域のお年寄りが集まる場所だったり、地域社協が入ったり、また、地域のNPO、PTA、青少協を含めて、多目的に使えるようなコミュニティセンターを考えていただきたい。コミセンを核にして、この御殿山地域がより広がっていき、若い人たち、次の担い手が入りやすく、この地域に根差した、そういうコミュニティセンターができたらありがたいと思っている。先ほど、公共施設の建て替えは60年経過してからとのことだったが、高齢化が進むので、できることなら自分たちが活躍できるうちにお願いしたい。



御殿山コミュニティセンター

【ご意見】

個人の要望ですが、御殿山コミセンにWi-Fiを入れてほしい。ただ、若者のたまり場になって占領されるとまた困るので工夫は必要だが、いわゆるお年寄りグループと若者グループとの調和みたいな形に持っていければいいと思う。

【ご意見】

集会所みたいところで充電用のコンセントを貸してくれるところもある。図々しいですけれどもそれもあとありがたい。

【市長】

御殿山コミセンは35周年ですね。目途としては、60年ぐらいは公共施設はきちんと修繕をしながら使っていこうという方向です。ただ、途中でさまざまな変化があって、利用機能をいろいろ拡充するとか、あるいは必要な設備機器をどうしても備えることができない

いときには建て替えもあり得るし、例えば保育施設と一緒に合築するとかはあるかと思いますが、この地域でそのような課題があるかどうかは議論しなければいけません。ただ、基本は、今ある施設をなるべく大切に使っていきたいと思っています。その意味では、このコミセンは今、エレベーターの設置の検討をしているところですが、中庭に設置できるかどうかや、建築面積がぎりぎりなので、エレベーターを増設するとどこか削らないといけないなどの課題も出てきております。うまくいけば、今年あるいは来年にエレベーターの設置を実現していきたいと思っています。

それから、Wi-Fi の導入は、今、公共施設で順次行っております。あまり使っていないかもしれませんが、吉祥寺の街角では、特に外国人の方がインターネットに容易にアクセスできるように、無料Wi-Fi を導入し、外で利用可能にしています。あるいは、パルコなど施設ごとにWi-Fi を独自に入れているので、外国人の皆さんは、その中で利用できると思っています。今後の方向として、公共施設も含めて、設備拡充はしていくべきものと思っていますが、ただ、それは基本的には情報を得るための手段です。つまり無料でいろいろネットにつながられるので、コミセンに来て、みんながネットをやっていただいかなければいけません。それはちょっと違うと思います。ネット環境は必要だけれども、それを使って、来た方と一緒に、フェース・トゥー・フェースのコミュニティづくりをしていただきたいと思っています。スマホというのは皆さんに必要な機器だと思っていますが、その充電については電気代の支払いということもあるので、市と調整していただきたいと思っています。

4. 武蔵野市と三鷹市の合併

【ご意見】

武蔵野市と三鷹市が合併して区になるというような話も過去にあったと思う。武蔵野市民としては非常に関心のあることなので、どんなふうにお考えなのかお聞きしたい。

【市長】

戦後この議論がかなり深まりました。武蔵野市と三鷹市、合併したほうがよりよい効率的な市政運営ができるだろうという動きがありまして、それぞれの議会で議決をとり、武蔵野市は賛成になりましたが三鷹市は1票差で反対になったので成立しておりません。その数年後にまた同じような話があつて、三鷹市議会では賛成になったけれども、武蔵野市議会では反対になったという経緯があります。当時もそうですが、市域の面積、あるいは

人口からみても、合併したほうが確かに効率的な市政はできると今でも思っています。現時点でも、武蔵野市の人口が14万、三鷹市の人口が18万、合計30万ぐらいなので、実は非常に効率のいい都市であることは間違いないです。しかし、合併して市の名前が三鷹市になる可能性もあります。中には理解いただける方がいるかもしれませんが、私は、それはないと思っています。逆に、三鷹市の方も、合併して武蔵野市になってもいいという方は、多くはないと思っています。合併は難しいと思いますが、連携の話を清原三鷹市長としています。公共施設の相互利用、例えば図書館をそれぞれ利用するということは結構進んできています。また先日、三鷹駅の北口は武蔵野市、南口は三鷹市でそれぞれ市政センターがありますので、一緒にやったほうが効率的ではないかという議論もしました。最終的には、スペースの問題で難しいということになってしまいましたが、このことに限らず、いろんな連携をやっ払いこうという投げかけをしています。一緒に取り組むことによって、効率的な市政、市民サービスができるだろうということで、どういう連携が必要なのかこれからもっと議論を深めていきたいと思っています。

【ご意見】

地域課題をもう少し広げて武蔵野市の課題について考えたい。東京都の小池都知事と市長が意見交換をする機会を持ったと聞いているが、武蔵野市の課題をどういうふうに投げかけたのか、具体的に意見交換の内容を教えてください。

【市長】

小池知事、頑張っていると思います。主義主張はいろいろ違うかもしれませんが、非常に多くの情報公開をしながら、多くの方の意見を聞こうというスタンスは今までの知事にはないやり方だと思っています。

多摩の26市の市長会というのがあって、その会長と知事とはもう2、3度意見交換の場ができています。ただ、それは市長会全体の意見を伝えるので内容も限られてしまいます。そこで、それぞれの自治体の状況を個々に知ってほしいと提案をしたところ、市町村の首長全員、特に市部と島嶼部と意見交換を行うことになりました。時間が20分と限られていましたが、五点ほど申し上げました。一つは、都営水道との一元化。武蔵野市の水道は自前ですが、リスク管理には限度があります。例えば、水道管の本管がどこかで破裂したら、なかなか復旧のめどがつかない。今は周りの都営水道の水道管とつながっていませんので、都営水道との一元化をお願いしたいということを申し上げました。ところが、非常に負担金が多く、それを払うよう言われています。そこを何とかしてほしいのですが、都が負担

するということは都民が負担するということになるので、武蔵野市が頑張って出さないということだと思います。そうはいつでも100億を超える大変な金額なので、それは協議をさせていただきますということになりました。

二点目は、外環の2（東京外かく環状道路の2）の問題です。外環は吉祥寺の東側を通る予定です。今日、大深度の穴をドリルで掘削するスタートの式が行われました。これから練馬と世田谷から、それぞれシールドマシンで掘っていきます。その北と南のトンネルが出会うところが井ノ頭通りです。2年後ぐらいにつながる予定です。本線に関しては、広域的な交通の観点から、早期につなげてもらったほうが首都圏の交通問題は解決するので、環境や安全面を最大限配慮しながら進めてくださいというのが市のスタンスですが、問題は地上部に残った外環の2です。吉祥寺の緑豊かな住宅地を30数mの道路が分断することになりますから、生活圏が東西に分かれてしまいます。今ある住宅地も緑豊かな環境もなくなってしまうということで、これはいかなるものかと思っております。小池知事には、ぜひ現地の状況を見た上で慎重に検討していただきたいという話をいたしました。知事は、外環本線の工事はされましたが、外環の2についてはうなずくだけで、なかなか現地を見にくくはおっしゃっていただけませんでした。今後も現地を見ていただきたいという要望は続けていきたいと思っております。

あとは、電線の地中化をもっと進めていきたいので、補助のあり方を考えていただきたいということ、それから、保育園の問題に大分苦労していることをお話ししました。保育園の建設については場所の問題がなかなか厳しいので、都が持っている施設や用地があったら紹介をしてほしいと要望したところ、前向きにいろいろ回答をいただいています。

それから、子どもたちの医療費の無料化についてです。現在は中学生まで無料です。所得制限なしで行っているのは、23区と多摩地域では武蔵野と府中だけです。これが東京23区と多摩の格差と言われているところなのですが、我々は23区に隣接する自治体ですから、23区並みということを頑張っているのですが、ほかの多くの市はできていないので、格差が生じないようにオール東京の視点で、東京都にもっと頑張っていただきたいという話をいたしました。それも、今後研究をしましょうということでした。

5. 下水道整備について

【ご意見】

今、水道の話が出たが、下水道が武蔵野市から杉並のほうに行く話が以前にあったと聞

いているが、その後、武蔵野市が断ったから、今度やるときは、武蔵野市が勝手に自分たちでお金を出してやることになる」と聞いたが、それは確かか。

【市長】

下水道は、確かに武蔵野市内には処理場がございませんので、市外に向けた本線も武蔵野市が整備をしなければいけない状況です。特に女子大通りの下には大きな幹線の下水道がありまして、それは杉並区側からも、ずっと武蔵野市の負担で、中身を全取っかえして、どんどん上流に向かって、今は進んでいる途中であります。

もう一つは、その延長として、善福寺川のほうの本線に向かう下水道管を整備するという事で、これも杉並区内を通過することから、武蔵野市の負担でやるということで、今、地域の皆様方に理解を求めているのですが、なかなか幹線ルートに沿線の方にご理解いただけず、具体的な工事まで着手できていない状況になっています。

いずれにしても、市域外であったとしても、武蔵野市が使っている下水道については、武蔵野市が負担するという事で進めておりますので、それについては、特に課題となっていることはございません。

(4) 閉会のあいさつ

【香村会長】

長時間にわたり、大変活発なご意見をいただきまして、誠にありがとうございます。

コミュニティセンターが地域の方々や地域の団体さんたちの主導的立場でなければいけないということを、今、つくづく感じております。これからも、地域の安全・安心、全ての活動の拠点として、御殿山コミセン、頑張りますので、皆さんのご協力をよろしくお願いします。ありがとうございました。



【市長】

本日はありがとうございました。また、コミセンの皆様、運営の協力をいただきまして、ありがとうございました。

今週の水曜、2月22日から、いよいよ本会議が始まります。そこで施政方針演説、予算の説明提案をさせていただきます。市が今、どんな課題を持ってどんな議論をしているのか、ぜひ議会にも注目いただきたいと思います。

それから、吉祥寺は多くの市内外の方に関心を持っていただいている、住みたいまちナンバーワンという評価もありましたが、逆に、そのランキングがちょっと下がると、そのこととても話題にさせていただけるような、関心を持っていただけるまちなんです。ただ、我々はそれに左右されず、本当にこの地域を、皆さんにとって住みやすいまちにしなければいけないと思っています。それが第一と思っています。皆さんにとって住みやすいまちというのは、外から見てもいいまちと見えるはずですが、第一義的には、この地域をみんなでよくしようということであると思います。



今日いただきましたいろいろな意見に、私も何らかの答えをさし上げられたかなと思っています。これからも、この御殿山コミセンを拠点にして、コミセンの活発な活動を通じて、地域のコミュニティの輪を広げ、魅力的なまちづくりをともに進めてまいりましょう。

本日は誠にありがとうございました。

2. 当日いただいたご意見と市の回答・対応方針

(※アンケートでいただいたご意見も含まれます。また、同じ趣旨のご意見については、一部割愛しています。)

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
1		市民と地域の課題を解決したいときに、例えばNPOやボランティアを通して、そういう活動を推進していく、または連携していく、そういう場がこのコミュニティであってほしい。	平成29年3月に策定された、「武蔵野市市民活動促進基本計画改定計画」においても、テーマ型市民活動(NPO等)と地域型市民活動(コミュニティ)の連携について記載しており、今後、連携を推進していくことでより良いコミュニティづくりにつながると考えています。
2	地域活動	千葉市のほうでも、親子で参加できるカフェづくりや、子どもたちを連れてのワークショップなどを投げかけると、結構人が集まる。きっかけをつくるのがすごく大事だと思うので、そういう場を提供してあげることは重要だと思う。	地域活動・市民活動に参加するきっかけは様々であり、多様な入口が地域の中に用意され、抵抗感なく活動に入っていける環境を創出していくことが重要であると考えております。また、コミュニティ活動においては、市民の自主性および主体性を最大限尊重する考えから、地域のボランティアで組織される16のコミュニティ協議会が、自主参加・自主企画・自主運営によりコミュニティづくりを進めています。引き続き、多世代のコミュニティづくりのきっかけとなる事業の企画運営をコミュニティ協議会へ提案してまいります。
3		コミュニティ協議会がどんなきっかけづくりができるかということだが、もうちょっと学生などの若者を巻き込んで企画をしてもいいのではないか。	現在、お祭りや各種事業で近隣の大学などの学生が協力してくださっているコミセンもあります。積極的にご参加いただきたいと考えております。
4	ハモニカ横丁	ハモニカ横丁は今後どうしていくのか。個人的には、吉祥寺の大きな魅力の一つがハモニカ横丁だと思う。建て替えてしまうと、その魅力が失われてしまうし、だからといって老朽化を見逃せないということなので、今後の計画や対策があったら教えていただきたい。	ハモニカ横丁の防災については、火災延焼防止対策が重要であると考え、消火栓の設置や機動性の高い大型消火器の設置などの防火対策を推進しています。防災上注視すべきエリアであるため、平成29年度に予定している既設大型消火器の再整備の実施をはじめ、今後も防災力の向上について検討を続けてまいります。また、吉祥寺の未来を展望し総合的なまちづくりの方向性を定めた「吉祥寺グランドデザイン」が、策定から10年経過したため、平成29、30年度で改定を行います。その中で、建物の権利関係が非常に複雑で老朽化建物の更新が容易ではないハモニカ横丁のあり方・方向性についても、議論を深めていきたいと考えています。
5	吉祥寺南口の開発	吉祥寺南口はとても狭く、バスが入ってきたらほんとうに歩きにくいので、そこをどうしていくのか教えていただきたい。	吉祥寺駅南口に約1,900㎡の駅前広場を整備し、バス降車場などを設けることで、パークロードからバスの通行をなくし歩行者優先の安全な歩行空間の形成を目指しています。平成12年に都市計画決定を行い、これまで地権者との折衝を重ねながら用地取得等の事業を進めており、現在の事業進捗率は64.0%です。南口については、基本的に駅前広場整備を優先し、残りの周辺街区については、平成29、30年度に「吉祥寺グランドデザイン」の改定を行う中で、公会堂を始めとする市有地の利活用と併せて井の頭公園と一体となった魅力あるまちづくりの検討を進めてまいります。
6	武蔵野市のランドマーク	武蔵野市のランドマークって何だろう？と考える。横浜のランドマークタワーのようなものはお金がかかって大変だと思うが、井の頭公園は広さもあるので、そのあたりに作って客を呼び込んだらどうかと思う。	5月に皆さまからの募金により、ゾウのはな子の銅像が、北口駅前広場に設置されます。はな子の銅像が、吉祥寺の新たなシンボルの一つになるものと考えています。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
7	ラーニング・フォー・オール	ラーニング・フォー・オールという、所得が低くて成績が低い人をボランティアで教育して学力を上げていくというようなことを、ぜひ武蔵野市も進めていってほしい。	生活困窮者自立支援法が施行された平成27年4月より、貧困の連鎖を断ち切ることを目的とし、小学校3年生から中学校3年生を対象に基礎学力の向上を目指した補習教室を実施しています。その他、学習が遅れがちな児童・生徒を対象に学校で補習を行う学習教室事業や教育相談事業、就学援助費制度など、各分野において施策の拡充が図られており、学習支援を必要としているすべての人に施策が行き届くよう各部署と連携・調整のうえ、効果的・効率的に実施する方策を研究してまいります。
8	コミセンの再編成	コミセンを建替えて、例えば、保育園や地域のお年寄りが集まる場所だったり、地域社協が入ったり、また、地域のNPO、PTA、青少協を含めて、多目的に使えるようなコミュニティセンターを考えていただきたい。	コミセンは特定の目的によらず乳幼児から高齢者まで誰もが使える多目的施設として設置しています。コミセンを運営する各コミュニティ協議会は地域のNPO、PTA、青少協など他団体との連携を進めておりますが、引き続き多世代が使いやすくなるよう、コミュニティ協議会へ提案してまいります。
9	コミセンの設備	御殿山コミセンにWi-Fiを入れてほしい。	コミュニティセンターにおけるWi-Fiの整備については、今あるインターネット環境にWi-Fi機器を追加するだけでなく、セキュリティ対策の問題や、公共施設全体でのWEB利用について考える必要があり、すぐにWi-Fiを整備することは難しい状況です。しかしながら、より多くの方にとって利用しやすいコミュニティセンターを目指し、今後も必要な環境を整備していきます。
10	合併	武蔵野市と三鷹市が合併して区になるというような話も過去にあったと思う。武蔵野市民としては非常に関心のあることなので、どんなふうにお考えなのかお聞きしたい。	三鷹市との合併の検討については、過去に相互の議会に諮るところまで話が進んだという事実があります。しかし、スケールが大きくなればなるほど市民との距離が遠くなり、ニーズの把握や市民との対話が困難になることから、合併は難しいと考えています。ただし、本市は三鷹市を始め、小金井市、西東京市との間で公共施設の相互利用など様々な面で協力関係にあり、今後も連携を深めていきたいと考えています。
11	下水道整備	下水道が武蔵野市から杉並のほうに行く話が以前あったと聞いているが、その後、武蔵野市が断ったから、今度やるときは、武蔵野市が勝手に自分たちでお金を出してやることになると聞いたが、それは確かか。	本市は、処理場がなく大きな河川もないため、市内の半分以上を占める第一処理区の汚水は杉並区内の東京都の下水道幹線に接続し、落合水再生センターで処理をしています。また雨水については、杉並区内の善福寺川に放流しています。そのため、本市の下水道管は杉並区内にも布設されており、その管の維持管理については今後も本市で費用負担していくこととなります。
12	資源ごみ	資源ごみに金属を加えてもらいたい。再資源化できるので実にもったいない。	「燃やせないごみ」として分別していただいている金属製品を、資源物として収集する検討を行っていますが、現状では、クリーンセンター跡地の工事のため、収集した金属類の一時保管所を確保することが難しく、実施には至っていません。なお、現状でも破碎・焼却の工程を経て「燃やせないごみ」中の金属を再資源化しています。
13	病院	吉祥寺南病院(建替え)の件はどうなっているのか。市報等で進行状況を知らせてほしい。	平成28年11月29日 森本病院、吉祥寺南病院の両病院から「共同による新病院計画検討について」として記者発表が行われました。現在は、病院建設に係る課題等の検討を行っている段階と聞いております。具体的なスケジュール等は未定であるため、市からお知らせできる情報はございません。
14	待機児童	待機児童解消のため、今後どうしていくのか見解を示していただきたい。	保育施設の整備により定員の拡充をはかる予定です。具体的には、平成30年4月に保育所を5園、認証保育所3園を開設することにより、待機児童の解消を目指すこととしています。

番号	分類	ご意見	市の回答・対応方針
15		三鷹駅北口周辺で、本来信号の設置が不可欠と思われる場所に設置されておらず、至急の対策をお願いしたい。	交通信号機は、交通事故の未然防止と道路交通の安全と円滑化を図るため、東京都公安委員会(警視庁)が設置、管理しています。交通管理者である公安委員会により、広域的に制御されている交通信号機について、市が直接的に対処することはできませんので、窓口となる武蔵野警察署へご要望をお伝えいたします。
16	信号機	丸井の東側を井ノ頭通りに右折したいが、東急イン前の信号が赤のため、車が停まっています。つまでも通れない。信号を考えてほしい。	交通信号機は、交通事故の未然防止と道路交通の安全と円滑化を図るため、東京都公安委員会(警視庁)が設置、管理しています。交通管理者である公安委員会により広域的に制御されている交通信号機について市が直接的に対処することはできませんが、当該路線の信号サイクルや信号機の間隔などの問題につきまして、窓口となる武蔵野警察署へご要望をお伝えいたします。

3. アンケートでいただいた感想

(※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています。)

1	市長と直接話をする機会があるのは良いことだと感じている。参加者は決まった人が多いのかと感じた。動画配信などで「見える化」する方法もありそう。
2	このような、地域と繋がれる機会をもっと設ける事が大切だと思います。
3	地域のマンション祭等のスタッフ募集等を掲示して欲しい。
4	ランドマークとしてビルでなく観覧車が公園にあれば、もっと集客が増すと思います。貧困者の子ども教育(ボランティアを募集して)を進める。
※アンケートは傍聴の方も含みます。	

第67回 市民と市長の タウンミーティング

2月19日(日) 14:00~16:00

御殿山コミュニティセンター

(御殿山1-5-11 TEL・FAX 0422-48-9309)

テーマ『コミュニティの未来を考える』

第一部「多様な市民力をコミュニティに」

第二部「地域の課題を考える」

【主催】
御殿山コミュニティ協議会
武蔵野市

- ◆当日直接会場へお越しください。
- ◆お車でのご来場はご遠慮ください。



《問い合わせ先》

武蔵野市 市民活動推進課 市民相談係

TEL 0422-60-1829 FAX 0422-51-2000

第67回

地域別
市民と市長のタウンミーティング

報告書

発行 平成29年5月

武蔵野市 市民部 市民活動推進課
武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話(0422)60-1829 (直通)